

審 議 事 項

件名・議案	提案者	別添資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	
Ⅲ 審議事項					
1. 規則関係					
提案1	日本学術会議の運営に関する内規等の改正について	科学と社会委員会委員長	別添1 (1)	幹事会附置委員会の提言・報告の査読を科学と社会委員会で担当することについて関係規定を改正する必要があるため。【関連：提案2】	小林副 会長
2. 委員会関係					
提案2	(機能別委員会) 科学と社会委員会 (1) 運営要綱の一部改正 (2) 委員の決定 (追加1件)	科学と社会委員会委員長	別添1 (6)	幹事会附置委員会の提言・報告の査読を科学と社会委員会で担当する関係規定の改正に伴い、査読委員の増員等を行うために、委員会の組織及び課題別審議等査読分科会の調査審議事項を改正するとともに、委員を決定する必要があるため。	小林副 会長
提案3	(機能別委員会) 国際委員会 (1) 運営要綱の一部改正 (新規設置1分科会) (2) 分科会委員の決定 (新規1件)	国際委員会委員長	別添1 (8)	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2013分科会の設置するために、運営要綱を一部改正するとともに、分科会委員を決定する必要があるため。	春日副 会長
提案4	(幹事会附置委員会) 若手アカデミー委員会 (1) 運営要綱の一部改正 (設置期限の延長)	若手アカデミー委員会委員長	別添1 (11)	審議の結果、より多くの有識者からヒアリングを行うことが適切とされ、それらを踏まえて議論をいっそう深めた上で報告書を作成するために、学術の未来検討分科会の設置期限を延長したため。	会長
提案5	(分野別委員会) (1) 運営要綱の一部改正 (新規設置2件、設置期間の延長2件、定数の変更2件) (2) 委員会、分科会及び小委員会委員の決定 (【委員会及び分科会】新規1件、追加3件【小委員会】新規3件)	(1) 心理学・教育学委員会委員長、経済学委員会委員長、基礎生物学委員会委員長、統合生物学委員会委員長、健康・生活科学委員会委員長、総合工学委員会委員長 (2) 第一部部長、第二部部長、第三部部長	別添1 (13)	分科会等の設置等に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、委員会等委員を決定する必要があるため。	会長
3. 提言等関係					

	件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者
提案6	提言「我が国の子どもの成育環境の改善にむけてー成育時間の課題と提言ー」を日本学術会議会則第2条3号の「提言」として取り扱うこと	心理学・教育学委員会委員長、臨床医学委員会委員長、健康・生活科学委員会委員長、環境学委員会委員長、土木工学・建築学委員会委員長	別添2	心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。	五十嵐隆委員長、木下勇幹事
提案7	提言「科学・技術を担う将来世代の育成方策～教育と科学・技術イノベーションの一体的進行のすすめ～」を日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会委員長	別添3	科学・技術を担う将来世代の育成方策検討委員会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。	柘植綾夫委員長
提案8	提言「日本の経済政策の構想と実践を目指して」を日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	日本の経済政策の設計と具体化検討委員会委員長	別添4	日本の経済政策の設計と具体化検討委員会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。	鈴木興太郎委員長、福田慎一幹事

4. 国際関係

提案9	Future Asia に関する会議に会員を派遣すること	国際委員会委員長	-	<p>本会議は、ICSUを始めとする国際機関等が推進する地球環境研究の枠組みであるFuture Earthに関連し、アジア地域における課題に焦点を当て、地球規模での発展、持続可能性への転換等に係る学際的研究の立案や実現に関する議論、意見集約を目的としている。台湾の科学アカデミー (ACADEMIA SINICA) より出席要請があったため、大西会長及び春日文子国際担当副会長を派遣することとしたい。</p> <p>会議名：Future Asia Meeting 派遣者：大西隆会長、春日文子副会長 期間：平成25年4月8日(月)～9日(火) 開催地：台北(台湾)</p>	春日副会長
提案10	WSF (ワールドサイエンスフォーラム) 運営委員会に会員を派遣すること	国際委員会委員長	-	<p>2013年11月にブラジル(リオデジャネイロ)で開催される予定のWSF (ワールドサイエンスフォーラム) の準備会合である運営委員会に、大西会長の代理として春日文子国際担当副会長を派遣することとしたい。</p> <p>会議名：WSF (ワールドサイエンスフォーラム) 運営委員会 派遣者：春日文子副会長 期間：平成25年4月5日(金) 開催地：パリ(フランス)</p>	春日副会長

5. 地区会議関係

	件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者
提案11	地区会議構成員の所属地区の変更を決定すること	科学者委員会委員長	別添1(25)	地区会議構成員から異動による所属地区会議変更申請があったため。	武市副会長
6. シンポジウム等					
提案12	公開シンポジウム「生体医工学フォーラム2013 in仙台・医工学教育・研究の現状と展望」	基礎医学委員会委員長	別添1(26)	主催：日本学術会議基礎医学委員会生体医工学分科会 日時：平成25年3月18日(月)10:00～17:00 場所：東北大学青葉山工学部中央棟大講堂	-
提案13	第26回環境工学連合講演会	土木工学・建築学委員会委員長	別添1(28)	主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会 日時：平成25年4月18日(木)9:25～17:00、4月19日(金)9:30～17:05 場所：日本学術会議講堂	-
提案14	公開シンポジウム「第3回先端フォトニクスシンポジウム」	総合工学委員会委員長	別添1(32)	主催：日本学術会議総合工学委員会ICOF分科会 日時：平成25年4月26日(金)11:00～17:00 場所：日本学術会議講堂	-
提案15	公開シンポジウム「職場のメンタルヘルスのグランドデザインを考える」	基礎医学委員会委員長、健康・生活科学委員会委員長	別添1(34)	主催：日本学術会議基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス分科会 日時：平成25年5月16日(木)10:00～12:00 場所：愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール)	-
提案16	公開シンポジウム「リスクを科学する」	経営学委員会委員長	別添1(36)	主催：日本学術会議経営学委員会「リスクを科学する」分科会 日時：平成25年5月18日(土)13:30～16:30 場所：日本学術会議講堂	-
提案17	生産科学分科会シンポジウム	機械工学委員会委員長	別添1(38)	主催：日本学術会議機械工学委員会生産科学分科会 日時：平成25年5月22日(水)13:00～17:00 場所：日本学術会議講堂	-
提案18	公開シンポジウム「リバーストランスレショナルリサーチ(rTR)」	薬学委員会委員長	別添1(40)	主催：日本学術会議薬学委員会医療系薬学分科会 日時：平成25年5月30日(木)10:00～17:30 場所：慶應義塾大学芝共立キャンパス	-
提案19	公開シンポジウム「リスクマネジメント研究の過去・現在・未来」	経営学委員会委員長	別添1(42)	主催：日本学術会議経営学委員会 日時：平成25年6月28日(金)13:00～16:30 場所：日本学術会議講堂	-

	件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者
提案20	公開シンポジウム「昆虫分類学の新たな挑戦」	農学委員会委員長	別添1(44)	主催：日本学術会議農学委員会応用昆虫学分科会、日本昆虫科学連合 日時：平成25年7月20日(土) 13:00～17:45 場所：九州大学箱崎旧工学部本館大講義室	-
提案21	公開シンポジウム「モダニティの再規定——ポスト近代を超える時代認識」	社会学委員会委員長	別添1(46)	主催：日本学術会議社会学委員会社会学理論分科会 日時：平成25年10月12日(土) 13:00～16:30 場所：慶應義塾大学	-

7. 後援

提案22	国際会議の後援をすること	会長	-	以下の国際会議について、後援の申請があり、国際委員会において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。 ①「ちきゅう」10年計画国際ワークショップ 主催：独立行政法人海洋研究開発機構 日時：平成25年4月21日(日)～23日(火) 場所：一橋大学一橋講堂(東京都千代田区) 参加予定者数：国外約100人、国内約200人、計約300人 参加予定国数：19カ国・地域 申請者：独立行政法人海洋研究開発機構 理事長 平 朝彦	会長
------	--------------	----	---	--	----

件名・議案	提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者
<p>国内会議の後援をすること</p> <p>提案23</p>	<p>会長</p>	<p>-</p>	<p>以下の会議について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたため。</p> <p>①平成24年度衝撃波シンポジウム 主催：日本衝撃波研究会、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、東北大学流体科学研究所 日時：平成25年3月13日（水）～15日（金） 場所：北九州国際会議場 参加予定者数：約170名 申請者：平成24年度衝撃波シンポジウム実行委員長 赤星保浩 審議付託先：第三部</p> <p>②日本化学会春季年会特別シンポジウム「我が国発の化学論文が減り続けている！何が起きているのか、我々は何をなすべきか。」 主催：公益社団法人日本化学会 共催：科学技術政策研究所 日時：平成25年3月24日（日）9:30～12:30 場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス 参加予定者数：約200名 申請者：公益社団法人日本化学会会長 玉尾 皓平 審議付託先：第三部</p>	<p>会長</p>